



# たけのこ通信



2012年 夏号 NO.6

「一寸先は闇」と言われる政界において、その闇の中に光を照らしていくのが政治家の役割です。

4月20日に前田国土交通大臣、田中防衛大臣の問責決議が参議院で可決されました。その後一か月以上、この問責に対して政府・与党から発せられるメッセージは、「二大臣交代の必要はない」の繰り返し。5月の参議院は、完全に開店休業だったのです。

そもそも二大臣の問責は、国防を担う責任能力の欠如と公職選挙法違反という明確な理由により、自民党だけではない賛成多数で「院の意志」として決定されたことです。その状態を打開するためにあらゆる方策を検討し、闇の中に光を見出す努力をするのは、政府与党の役割ではないでしょうか。社会保障と税の一体改革をはじめとして重要法案を抱えている政府は、国家国民のために何が何でも法案を成立させねばならないという使命感を持ち、そのための地ならしにとことん汗をかかねばなりません。



私たちの選ぶ道は、ただ一つ。自民党の利益のためではない、国民の利益のために今何が必要かを第一に考え、行動するのみ。その内にあるのは、三年近い政権運営を眺めてきて、こんないい加減な政権が一日も長く続くことが日本の国益を損ない国民を不幸にするという確信です。闇の中に光を照らすのは、その光が真面目に頑張っている国民に当たるようにするためなのです。

参議院議員  
渡辺 猛之

## 杉原千畝氏のレリーフ、八百津へ

八百津町出身の外交官で、第二次世界大戦中に赴任先のリトアニアで「命のビザ」を発給してユダヤ人を救ったことで知られる杉原千畝氏。没後25周年を記念して、彼の母校・早稲田大学出身の国会議員でつくる稲門会杉原千畝顕彰会から、八百津町に杉原氏のレリーフが贈られました。

渡辺たけゆきも、同郷ということで贈呈式にお招きいただきました。

イスラエルのニシム駐日大使の「千畝氏の功績は永久に忘れない」という言葉に、あらためて、外務省の意向に反しても人道的な見地から6000人ものビザを発行した千畝さんの偉業に敬意を感じました。政治家も目先の評価を気にするのではなく歴史の評価に耐えうる仕事をせねば！と志を再確認できた一日でした☆

それにしても、故郷の自慢話ができるのは嬉しいことです!!

→ レリーフは、人道の丘公園内の杉原千畝記念館に展示されます!



3月から5月、県内4市3町で首長・市町議会議員選挙が行われました。国会日程の合間をぬって、出来る限り激励に足を運びました。

## 第3回かも1グランプリ 開催

可茂地域の青年部を中心に構成されている可茂地域活性化委員会主催の「かも1グランプリ」が、川辺町で開催されました。当日は天候にも恵まれ1万5000人の来場者で賑わいました！このイベント、可茂地域活性化委員会のメンバーをはじめ、川辺町、各商工会、ボランティアの中高生…すべて手作りののです！



↑ 顧問としてあいさつ



「一人一人の力が集まればこんなに大きな力になる！」と改めて感じる「かも1グランプリ」でした。この力こそ、まさに地域の活力です!! なお、優勝は開催地川辺町商工会青年部が出品した「ビク鶏〜(ビクトリー)丼」でした。



## 小規模企業を支援する 参議院の会、始動！！

渡辺たけゆきが中心となって「小規模企業を支援する参議院の会」を立ち上げました。「現在の中小企業施策は小規模・零細の企業にとって十分な効果を上げていないのでは？」という問題意識が原点です。これまでに、全国商工会連合会や中小企業庁からヒアリングをしたり、関心の高い議員同士で意見交換を重ねてきました。

ライフワークとして取り組んでいきたい課題です。まだまだ始まったばかりですが、必ず形にできるよう、これからも精一杯取り組んでまいります！



↑ 勉強会の様子

## 国会での あしあと

→ 3月22日、予算委員会公聴会にて、「税と社会保障」をテーマに質問しました。普段と違って、有識者の話を聞きながら即興で質問するスタイルには緊張しました。



← 4月26～27日、自民党岐阜県連女性部の研修が永田町で行われました。国会事務所にもお越しいただきました！

## 議員外交、 はじめの一歩



4月、参議院議長の招待で、ブルガリアの国民議会議長一行が来日されました。これに合わせて、渡辺が所属する日本・ブルガリア友好議員連盟では、歓迎の夕食会を開催しました。写真はなんと、日本側の代表として国歌を独唱させていたところ！

今後とも続けて、両国の友好を深めていければと思います。

## 国土交通委員会で質問

～都市再生特別措置法改正案～

昨年に引き続き、今年も都市再生特別措置法改正案の質問に立ちました。

今回の改正のポイントは、東日本大震災で帰宅困難者が多くでたことをふまえ、3日間程度は都市の施設で待機できるように整備をするというものです。

私たちは震災を通して「一番大切なのは、なによりも人の命を守ることだ」と思い知らされました。



帰宅困難者対策やソフトの整備が重要なのは言うまでもありませんが、この程度で、震災を経験した世代として責任を果たしたと言えるのでしょうか？

自民党は「国土強靱化」をテーマに、本当に人の命を守る提案をしていきます！

自民党

～日本再起のための政策～

自民党はこの度、「日本の再起のための政策」をとりまとめました。

「1人ひとりを強く、豊かに」。 今度こそ、責任ある政治と実現するビジョンを！  
もう一度日本の繁栄を築くため、自民党は3つの理念、3つのビジョンを掲げます。

### 3つの理念

- ① まず自分が頑張る！
- ② 社会で役割を果たす！
- ③ 未来につなげる！

### 3つのビジョン

- ① 国民の安全・安心が第一
- ② パラマキから雇用・成長へ
- ③ 新たなフロンティアへの挑戦

### 日本再起のための7つの柱

- ① 新しい日本の出発
- ② 復興の加速・事前の防災
- ③ 将来への投資・強い日本の創生
- ④ 頑張る人を応援し、自助を基本にした持続可能な安心社会
- ⑤ 地方の重視・地域の活力
- ⑥ 自立した日本・総合的安全保障
- ⑦ 政治・行政改革

☆詳しくは、自民党HPをご覧ください☆



渡辺たけゆき国会事務所 担当：鈴木

〒100-8962 千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 325号室  
電話 03-6550-0325 FAX 03-6551-0325